

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019年 11月 15日作成 第2版

研究課題名	膵胆管合流異常症発癌メカニズムの分子生物学的網羅的検索
研究の対象	2006年4月以降に、膵胆管合流異常を有する肝胆道疾患に対し胆道手術を受けた方。成人期は横浜市立大学附属病院で、小児期は神奈川県立こども医療センターで手術を行った手術が対象です。
研究目的 ・方法	手術で摘出した胆嚢・胆管粘膜での炎症・発癌関連タンパクの発現を、免疫組織染色・RT-PCR法で調査し、臨床情報との関連を把握することで発癌関連因子や発癌メカニズムを検討します。
研究期間	西暦2011年9月2日 ～ 西暦2023年3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	試料は手術により摘出された胆嚢・胆管粘膜を使用します。。情報は、名前・診療録番号以外の臨床情報・病型・手術情報と各試料における上記タンパク発現の有無・発現量です。
外部への 試料・情報の 提供	横浜市立大学附属病院で摘出された試料は横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科で保管され、研究のための試料の処理も同科で行われますが、保管あるいは処理ができない場合に限り匿名化された状態で研究担当者が神奈川県立こども医療センターへ運搬し、神奈川県立こども医療センター 外科で保管あるいは処理される可能性があります、その後は研究担当者が運搬し横浜市立大学附属病院で保管されます。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	神奈川県立こども医療センターで摘出された試料も神奈川県立こども医療センター外科で保管され、研究のための試料の処理も神奈川県立こども医療センターで行われますが、保管あるいは処理ができない場合に限り匿名化された状態で研究担当者が運搬し横浜市立大学附属病院で保管あるいは処理される可能性があります。神奈川県立こども医療センターで得られた情報は、匿名化された状態で記録媒体に保存され、それを担当者が運搬し横浜市立大学附属病院のものとまとめて管理・処理・解析します。試料・情報の保管は、少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの期間まで利用されます。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	研究代表機関：横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 参加機関：神奈川県立こども医療センター 外科
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 （研究責任者）中山 岳龍 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-782-9161</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学 大学院 消化器・腫瘍外科学 （研究事務局）浅野 史雄 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-782-9161</p> <p>主に浅野史雄にご連絡ください。</p>	